

2014年1月期9月度 月次業績動向 (2013年8月21日～2013年9月20日)



2013年10月10日

会社名 **ピープル株式会社**

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕千鶴子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問い合わせ先 IR担当 飛田留美子

(単位: 千円)

科目	《月次の対比》			《期初からの累計期間の対比》			《過去12ヶ月累積の対比》		
	2013年1月期 9月度	2014年1月期 9月度	前年 同月比	12/1/21～ 12/9/20	13/1/21～ 13/9/20	前年 同期間比	11/9/21～ 12/9/20	12/9/21～ 13/9/20	前年 同期間比
売上高	218,322	270,266	123.8%	1,587,353	1,904,400	120.0%	2,730,838	3,168,532	116.0%
営業利益	4,532	12,551	276.9%	△ 7,275	△ 39,585	N/A	115,648	122,724	106.1%
経常利益	4,969	23,784	478.6%	△ 3,515	8,421	N/A	118,354	172,296	145.6%
税引前利益	4,969	23,784	478.6%	△ 3,521	8,421	N/A	117,864	172,293	146.2%
流動資産	1,839,012	1,900,436	103.3%						
固定資産	171,172	160,617	93.8%						
流動負債	237,918	266,535	112.0%						
固定負債	50,000	50,000	100.0%						
純資産	1,722,266	1,744,517	101.3%						
総資産	2,010,184	2,061,052	102.5%						

【2014年1月期第3四半期 業績予想】(2013年9月2日発表)

〔第3四半期会計期間(2013/7/21～2013/10/20)予想〕

・売上高 8億1百万円(前年同期間比 13.8%増)

・営業利益 27百万円(前年同期間比 23.6%減)

・経常利益 16百万円(前年同期間比 54.5%減)

〔第3四半期累計期間(2013/1/21～2013/10/20)予想〕

・売上高 21億88百万円(前年同期間比 13.1%増)

・営業損失 42百万円

・経常利益 13百万円(前年同期間比 54.8%減)

商品別売上高

商品カテゴリー名	2013年1月期 9月度	2014年1月期 9月度	当月 構成比	12/1/21～ 12/9/20	13/1/21～ 13/9/20	当期間 構成比	11/9/21～ 12/9/20	12/9/21～ 13/9/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	90,263	93,397	34.6%	590,881	625,568	32.9%	1,054,178	1,126,989	35.6%
女兒玩具	42,518	54,484	20.2%	317,930	322,811	17.0%	695,323	629,112	19.9%
遊具・乗り物	38,114	34,611	12.8%	387,106	341,597	17.9%	605,824	578,423	18.3%
その他	47,427	87,774	32.4%	291,436	614,424	32.2%	375,513	834,009	26.2%
合計	218,322	270,266	100.0%	1,587,353	1,904,400	100.0%	2,730,838	3,168,532	100.0%

9月度新発売商品

商品カテゴリー名	商品名	発売日	標準小売価格(税込)
乳児・知育玩具	お米のおもちゃシリーズ「お米のつみき いろいろ」	2013年9月2日	¥10,290
	お米のおもちゃシリーズ「お米のなめかみ いろいろ」	2013年9月2日	¥1,995
	お米のおもちゃシリーズ「お米のらっぱ いろいろ」	2013年9月2日	¥1,995
	お米のおもちゃシリーズ「お米のマラカス いろいろ」	2013年9月2日	¥1,995
遊具・乗り物	「いきなり自転車プレミアム」(新色 プレミアムパールホワイト)	2013年9月2日	¥26,040

当9月度は、前月8月度に続く玩具部門の好調で国内販売を支え、海外販売を含む総売上高は2億70百万円、前年同月対比23.8%増と前年を上回りました。

玩具部門では、想定を越え補充注文ペースが上がった“お人形シリーズ”の好調が目立ちました。人形販売数の増加にはお盆商戦以降の回復トレンドへの変化が窺えます。人形購入者の増加に伴い、TVコマースによるお道具購入が促進され、女兒玩具カテゴリーの売上を持ち上げています。

又、乳児・知育玩具カテゴリーでは、“お米シリーズ”の新製品「いろいろシリーズ」4品発売による流通人気で、カテゴリー売上高アップに繋がっています。でんぷん質のため困難が予想されたお米素材独特の色出しに成功し、マカロンのようなカラフルでおいしそうな仕上がりとなり、お米シリーズは、取扱店及び、購入者の話題を呼び起こし、好調なスタートを切りました。

当期は、輸入仕入代金への円安リスク回避を目的に上半期で取得したUSD先物予約が、仕入決済に充当されるたびに決済分と保有残高が営業外損益に時価評価され、変動しながら経常利益に影響しています。当期期初からの累計期間では、当9月度を以て、保有ドルの分の時価評価も含め、前月までの当期累積損失が黒字転換しはじめました。又、為替による原価高の構造となった8ヶ月を含む過去12ヶ月の損益構造を前年同期間で比較(右上表参照)しますと、当期増収に伴い利益構造は徐々に改善されつつある事がご確認いただけます。